れたのはすごいご馳走でした。そこで一人一人に配られたのは1メートル程の長い箸でした。みんなは必死に食べようとするのですが、なかなかうまく食べられません。それどころか、腕がぶつかったとか、食べられない事を、人のせいにして、とうとう喧嘩が始まりました。そんな事をしているうちに、食事の時間が終わってしまいました。次に、天国に行きました。するとそこは、地獄とまったく同じで、綺麗な花畑でした。そしてそこにいる人は、みんなふくよかで、幸せそうな顔をしていました。そして食事の時間になると、地獄と同じくすごいご馳走が出てきました、男は、「天国はきっと箸が違うのだろう」と思っていると、それも地獄と同じ長い箸が配られました。すると人々はどうしたかというと、お互いに食べたい物を聞き合って、取ってあげて、食べさせ合っていたのです。それを見た男は、それからは、自分のことばかり考えるのではなく、誰かの為に尽くして暮らすようになった。というお話です。

　もちろん、天理教には天国や地獄などはありませんが、親神様のご守護は、どんな事があっても平等で、天国も地獄もそこにいる人の心一つで、天国にもなり地獄にもなるんだと、この話を思い出し、いつも気づかされます。まさにこの話の天国は、陽気ぐらしそのものなのです。

　このコロナの大節を通して、神様が私達人間に伝えたいことは、この陽気ぐらしの実践であると、私は思っています。そしてそこで大切なのは、この話のように、思いやりの心です。厳しいお仕込み、教理、それも大事ですが、その前に、やさしさ、助け合う心が大切なのだと、伝えて下さっているように感じます。そして、助け合う心で、陽気ぐらしを実践し、それにより、自分も心が勇み、それぞれが目標に向かう事で、神様からの御守護を頂けるのだと思います。

　最後になりますが、本年8月29日の創立110周年記念祭が、どんな形で行われるかはまだ決まっておりませんが、おつとめを勤める事だけは決まっております。当日のおつとめの役割も先月発表になりました。お役に当たっている先生方はどうか当日まで、お役を頂いた事に感謝して、練習に励んで頂きたい、そして当たっていない方も、オンライン「あ・走」で、今一度おつとめを勉強して頂き、このズームの繋がりを1人でも多くの方に広めて、もし当日大教会に来たくても来れない方も、皆が心を一つにおつとめが勤められるよう、努力して頂きたいと思います。

　教典に、「おつとめは、神様と呼吸を合せ、心を一つにして、勇んで勤める事で、いかなる願いも叶えられるのが、おつとめである。」と書かれています。どうか、一人一人が陽気ぐらしを実践する事で、心を勇ませ、このおつとめを、網走につながる方全員の、記念祭の目標にして、通って頂きたいと思います。

第1回オンライン「あ・走」配信修了

　3月14日（日）午前10時より、第1回オンライン「あ・走」が配信された。

　まずは担当者がリアルタイムで挨拶をし、その後、記念すべき第1回目の講師である、藤山重善（呼人分教会長）先生の「おつとめ」をテーマとしたお話が25分程あった。

　今回はズームというアプリを携帯やパソコンなどを使い、個人で聞く方や、教会などでみんなで聞く方など、それぞれの場所で大教会につながる多くの方が講話を聞かせて頂いた。

　途中音声が少し途切れるといった小さなトラブルはあったが、講話の始める前と終了後には、参加された方がお互いにリモートで会話をするなど、和やかな雰囲気で第1回目を終えた。

　基本的には第3日曜日の午前10時からの配信を予定していますので、次回からもぜひ楽しみにしていて下さい！

　何かわからないことがあれば巻頭に担当者の連絡先が掲載されていますので、お気軽にご相談下さい。

《オンライン「あ・走」講師予定者》

◎3月14日（終了）
藤山重善（呼人分教会長）
◎4月25日（日）
栗林徳正（旭一分教会長）
◎5月16日（日）
三幣正志（女満別分教会長）
◎6月20日（日）
細木善信（網昇分教会長）
◎7月18日（日）
齋藤芳徳（徳道分教会長）
◎8月15日（日）
結城和広（宗稚分教会長）

昇殿参拝

　3月26日、春の匂いがする暖かな気候の中、9名が昇殿参拝をさせて頂いた。

　今月は大教会としても久しぶりの教人資格検定と教会長資格検定の受講者を御守護頂き、にぎやかな参拝となった。